

新型コロナウイルスワクチンとアレルギー

アレルギー科 医師 杉山 晃子

Q.アレルギーってなあに？

私たちの体には、自分の体の成分と違う物、例えば、細菌・ウイルス・食物・ダニ・花粉などが体の中に入ってくると、これを異物として認識して攻撃し排除する仕組みがあります。これを「免疫」と呼んでいます。これらの異物に対して反応する際に自分の体を傷つけてしまう場合をアレルギー反応と呼んでいます。

アレルギーの原因となるものをアレルゲンといいます。（日本アレルギー学会HPより）

Q.アナフィラキシーってなあに？

2臓器以上に及ぶ、全身性のアレルギー反応をいいます。

症状は蕁麻疹などの皮膚症状、息が苦しくなったり、咳や鼻水やくしゃみが止まらなくなったりする呼吸器症状、腹痛や嘔気・嘔吐、下痢などの消化器症状などが複数同時に現れます。症状が重篤なときは、脱力、血圧低下や意識障害、失禁などショック状態となり、命にかかわります。

Q.ワクチン接種後の症状にはどんなものがあるの？

ワクチン接種により現れる全身症状には、疲労、頭痛、筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢や発熱などがあります。現れる機序は明らかではありませんが、ワクチンの接種数時間から数日後に現れる一過性の現象で、ワクチンによる正常な免疫応答の一部と考えられています。一般的にこれを副反応といいます。

Q.ワクチン接種後のアレルギー症状って副反応と違うの？

(ア) 注射部位以外の皮膚の発赤、蕁麻疹、唇の腫れ、目の痒みや腫れ、くしゃみ、鼻水などの鼻炎症状

(イ) 喉の閉まる感じ、呼吸困難、強い咳などの呼吸器症状

(ウ) 強い腹痛、嘔吐・下痢などの消化器症状

(エ) 血圧低下・意識障害などの循環器症状

このうち2つ以上の症状が出現した場合をアナフィラキシーと診断します。アナフィラキシーを含む急性のアレルギー反応は、ほとんどが接種後数分ないし十数分以内に現れ、30分間の経過観察の中で起こることが多いとされています。

Q.アレルギー症状でワクチンを避けるべき人ってどんな人？

1 回目のワクチン接種で重度の過敏症を呈した人。1 回目のワクチンで局所の蕁麻疹、軽い呼吸苦などの症状があった場合は、2 回目の接種を絶対に避けるものではありませんが、アナフィラキシーの対応ができる医療機関での接種を勧めており、1 回目よりも重篤な症状が出現する可能性に備えるようにします。

※ワクチンの成分、特にポリエチレングリコール (PEG) あるいは PEG と交差反応性があるポリソルベートを含む薬剤に対して重度の過敏症をきたした既往がある場合は専門医による適切な評価とアナフィラキシーなどの重度の過敏症発症時の十分な対応ができる体制のもとでない限り、同ワクチンの接種は避けるべきとされています。

PEG はファイザー製およびモデルナ製に含有されており、ポリソルベートはアストラゼネカ製に含有されています。

Q.ポリエチレングリコール (PEG) について詳しく教えて

医薬品の添加物としてだけでなく、スキンケア用品、シャンプーなど日用品にも広く使われており、安全性は高いものとされています。医薬品に用いられるときはマクロゴールと記載されており、分子量も 200-20000 と様々です。体内で壊れやすい mRNA は脂肪の膜 (リポソーム) で包まれています。このリポソームの安定性を保つ重要な役割を持っています。しかし、この PEG に対して重篤なアレルギー症状を起こす人もいることは以前より報告されており、これがアレルゲンではないかと言われています。

Q.アレルギー疾患があってもワクチンは打てますか？

当院では日本アレルギー学会の指針に従って、接種を勧めております。

喘息・アレルギー性鼻炎・アトピー性皮膚炎などのアレルギー性疾患をお持ちの方、ワクチンや医薬品 (注射) 以外の特定の物質 [食品、ペット、ハチ毒、環境 (ハウスダスト、ダニ、カビ、花粉など)、ラテックスなど] に対するアレルギーをお持ちの方がコロナウイルスワクチンを接種することによるアナフィラキシーの発症リスクは一般の方と変わらないとされています。ただし、コントロール不良喘息患者の場合には、万一アナフィラキシーをきたした場合に重症化するリスクがあるため、これらに対応できる医療機関での接種が望ましいと考えられます。

Q.ワクチン接種の際に注意が必要な人はどんな人？

1. 予防接種で接種後に全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある者

2. 本剤の成分に対して、アレルギーを呈するおそれのある者

上記の方は、アナフィラキシーなどの重度の過敏症に対応できるような体制のもとで接種し、接種後の観察時間も 30 分以上とすることが望ましいと考えられます。

また、ファイザー製のコロナウイルスワクチンの成分につきましては、ポリエチレングリコールおよびそれと交差反応性があるポリソルベートが考えられます。特定の医薬品使用後にアナフィラキシーをきたした既往がある場合、ワクチンを接種する前に、添付文書でアナフィラキシーをきたした薬剤に含まれていたか確認しておく必要があります。

2. については、下記の 1-3 に該当する方はリスクが高いと考えておりますので、かかりつけ医もしくは当院にご相談ください。

1. 複数の薬剤でアナフィラキシーの既往がある患者

2. 原因不明のアナフィラキシーの既往がある患者

3. 今までにワクチン接種でアナフィラキシー症状を起こしたことのある患者